

Necomiya

presented by Rust ship

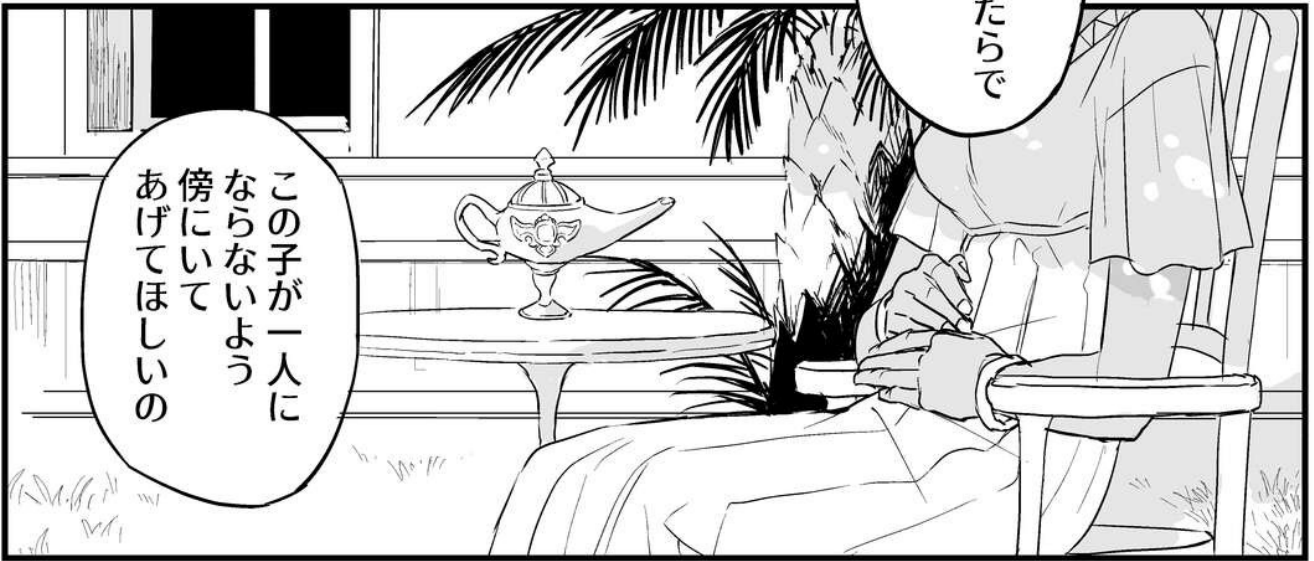


INCUBUS LAMP

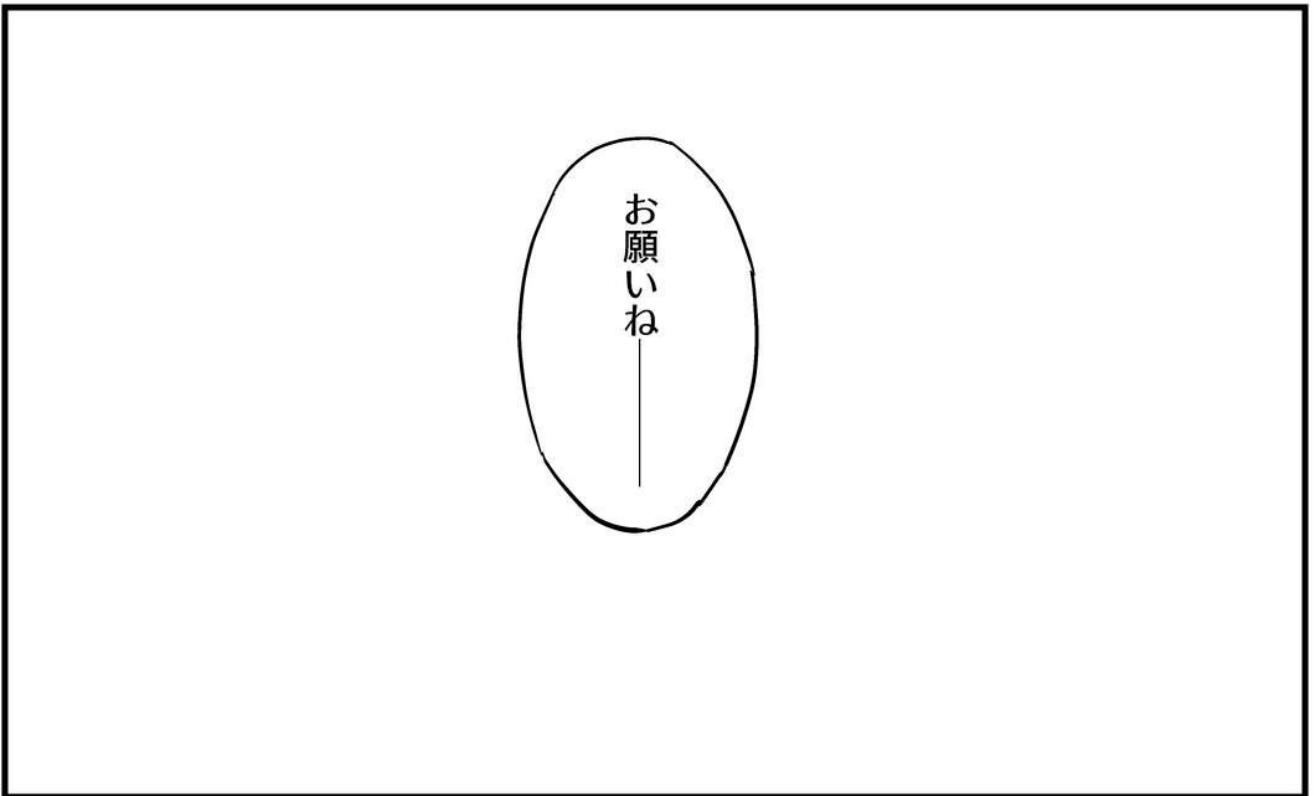


ずっと
じゃなくていい

気が向いたらで
いいから



この子が一人に
ならないよう
傍にいて
あげてほしいの

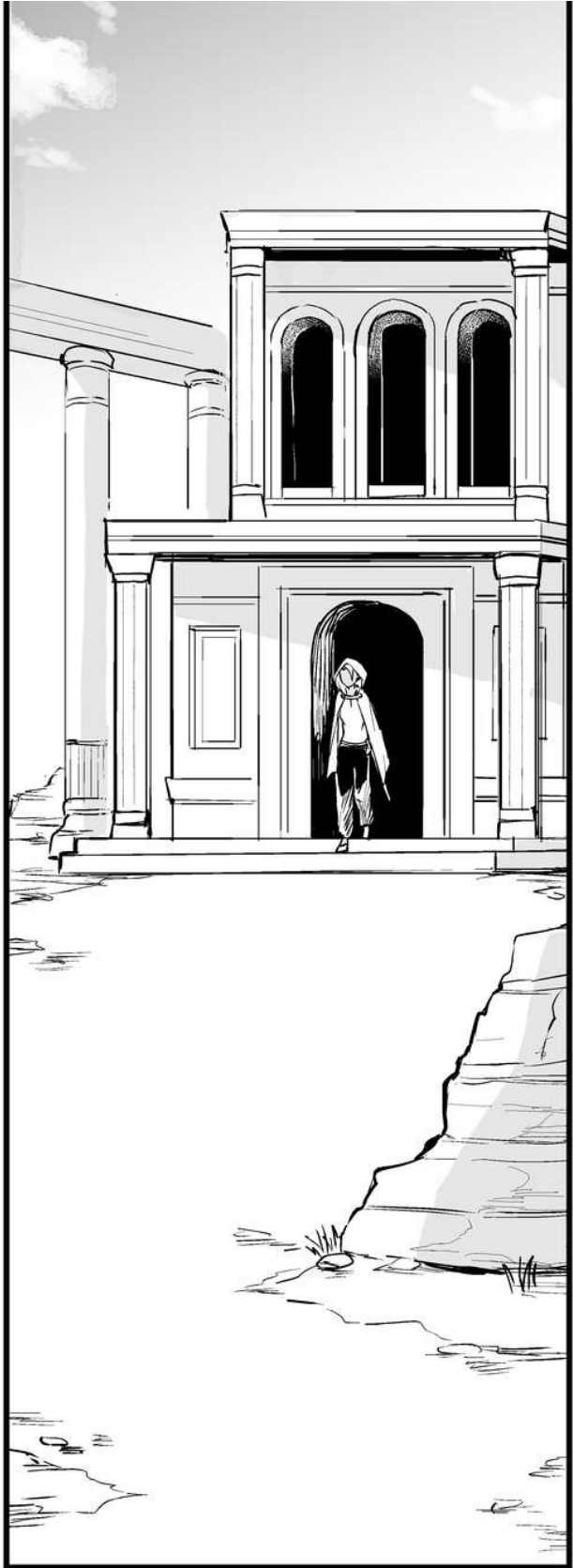


お願いね



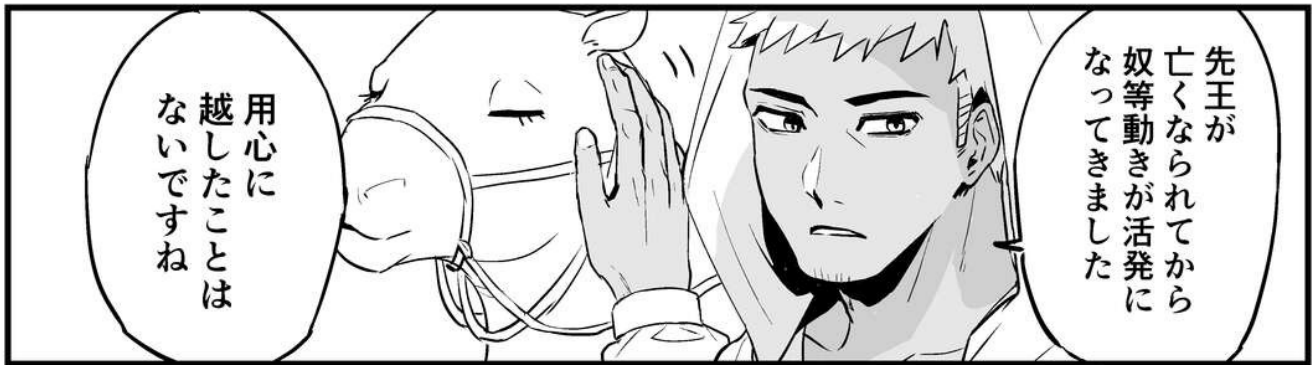
遺跡はまだ
荒らされて
いないようです

そうか



だが直に
ここにも盗賊が
現れるだろうな

もしくは
敵国の偵察か




先王が
亡くなられてから
奴等動きが活発に
なってきました

用心に
越したことは
ないですね




ああ
陽も落ちてきた

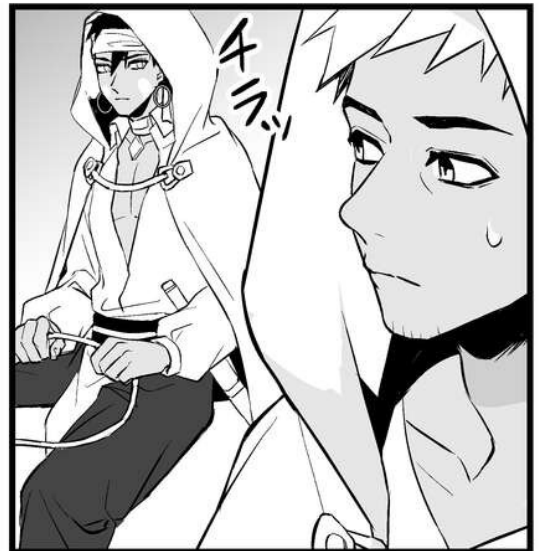
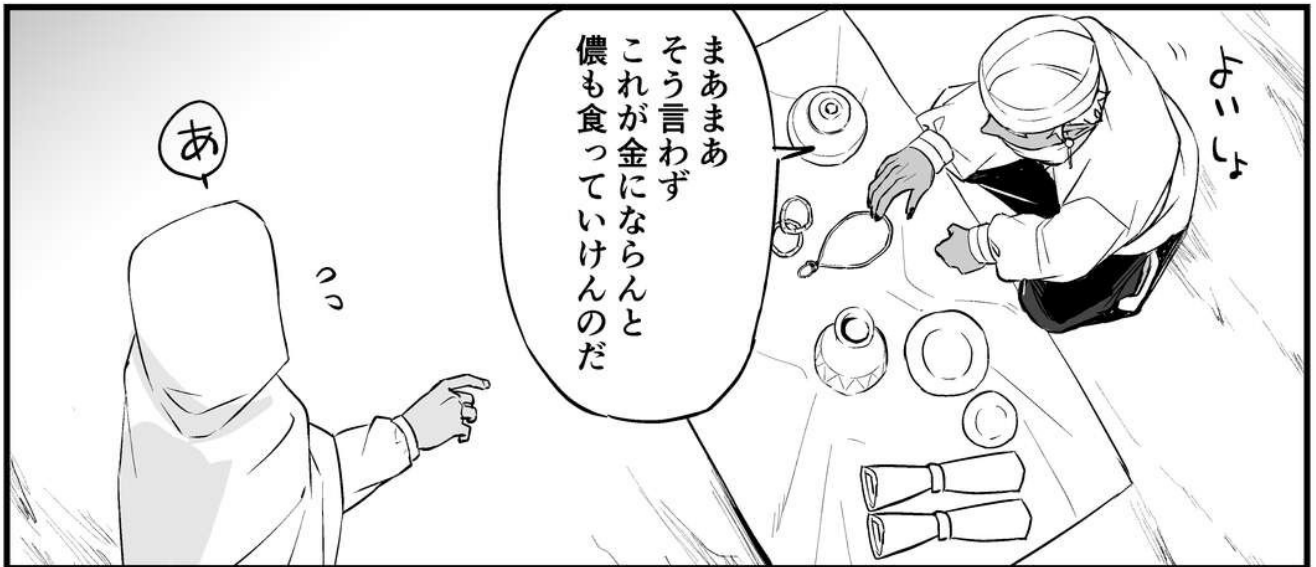
そろそろ戻ろう
あまり遅いと爺が怒る



ははっ
違うない



ちよいと
そこのご一行



あちこち旅をして
手に入れた
骨董品じゃよ

価値の良し悪しは
分からんが

普通
価値のあるものを
売るんじゃないの？

ほほっ
物の価値は人それぞれ

誰かにとっては
価値がなくとも
お嬢さんにとっては
価値があるかもしれん

ほれ
これなんか
どうじゃ

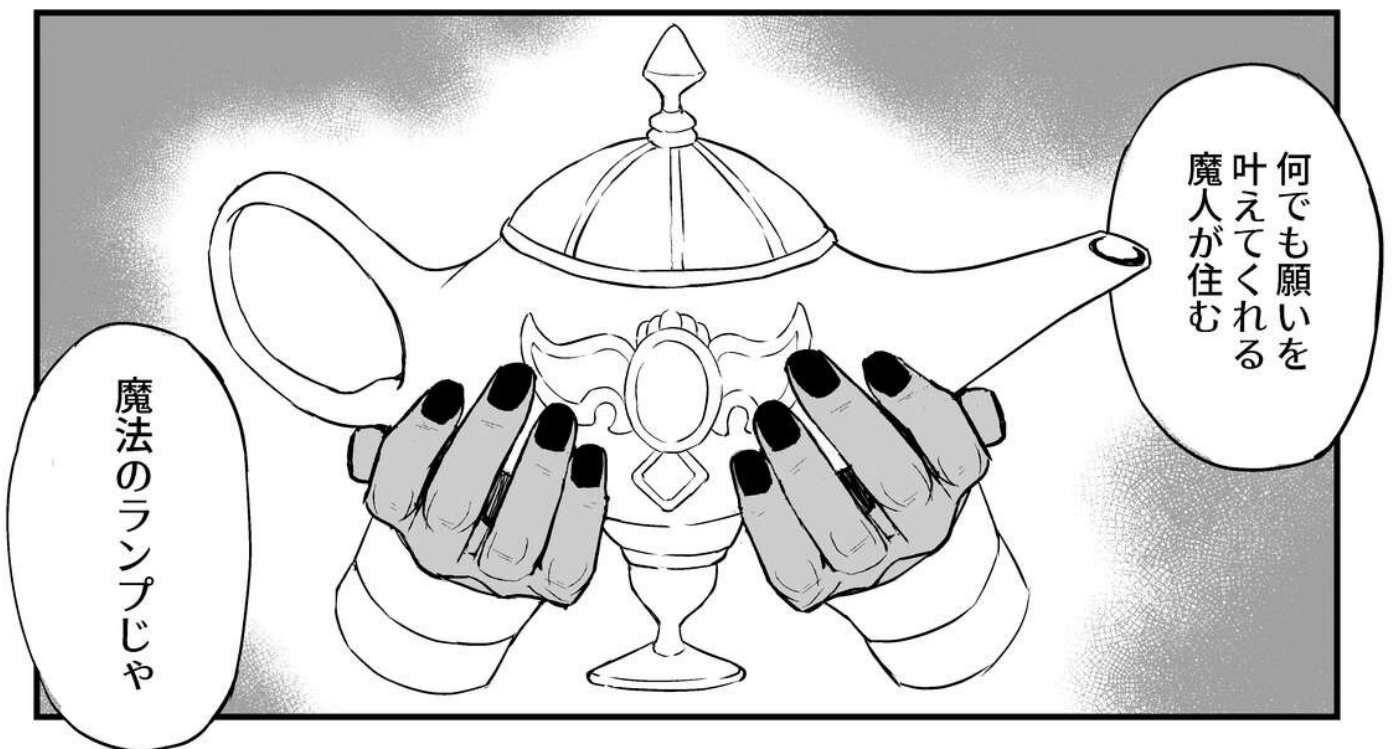
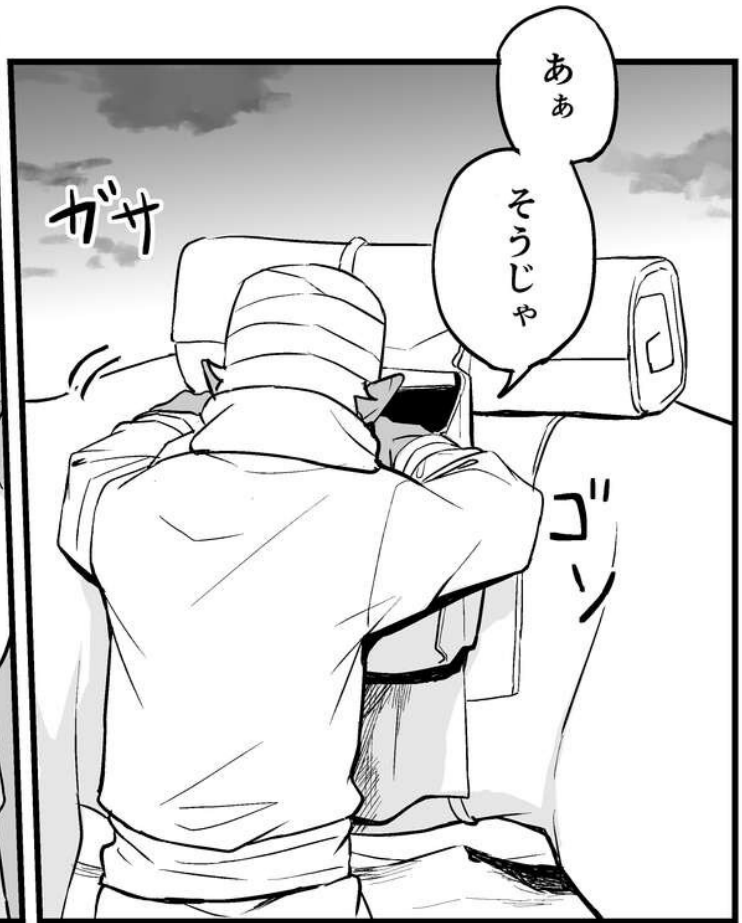
何それ？

こころじゃ
珍しい石で
できた首飾りじゃ

へえ
綺麗だね

こりゃ時間が
かかりそうですよ

たまには
いいだろう



どこかで
見たことが…

願いを
叶えてくれるなんて
何だか胡散臭いな

長きに渡り
それを信じた
欲深き者達が
ランプを巡り

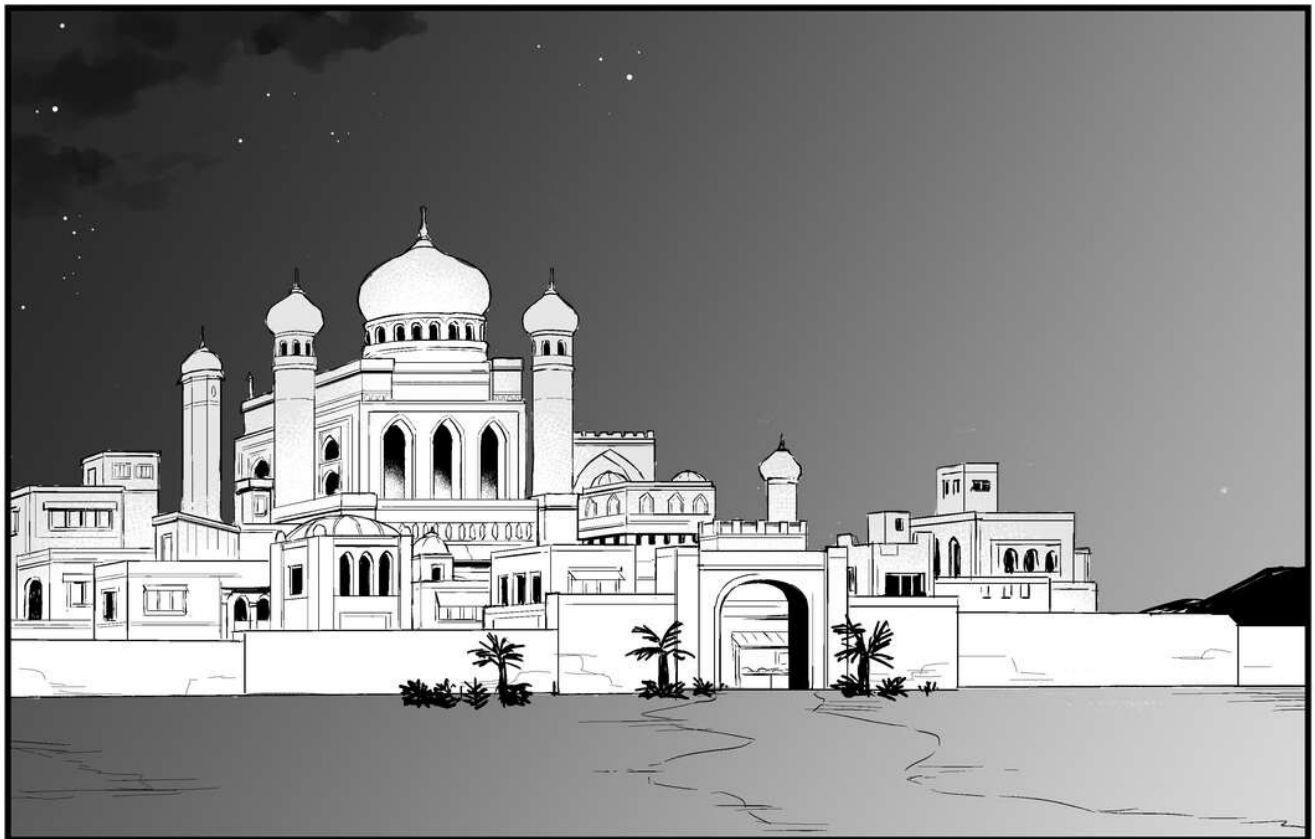
大枚をはたき
時には
争いを巻き起こした
と言われている

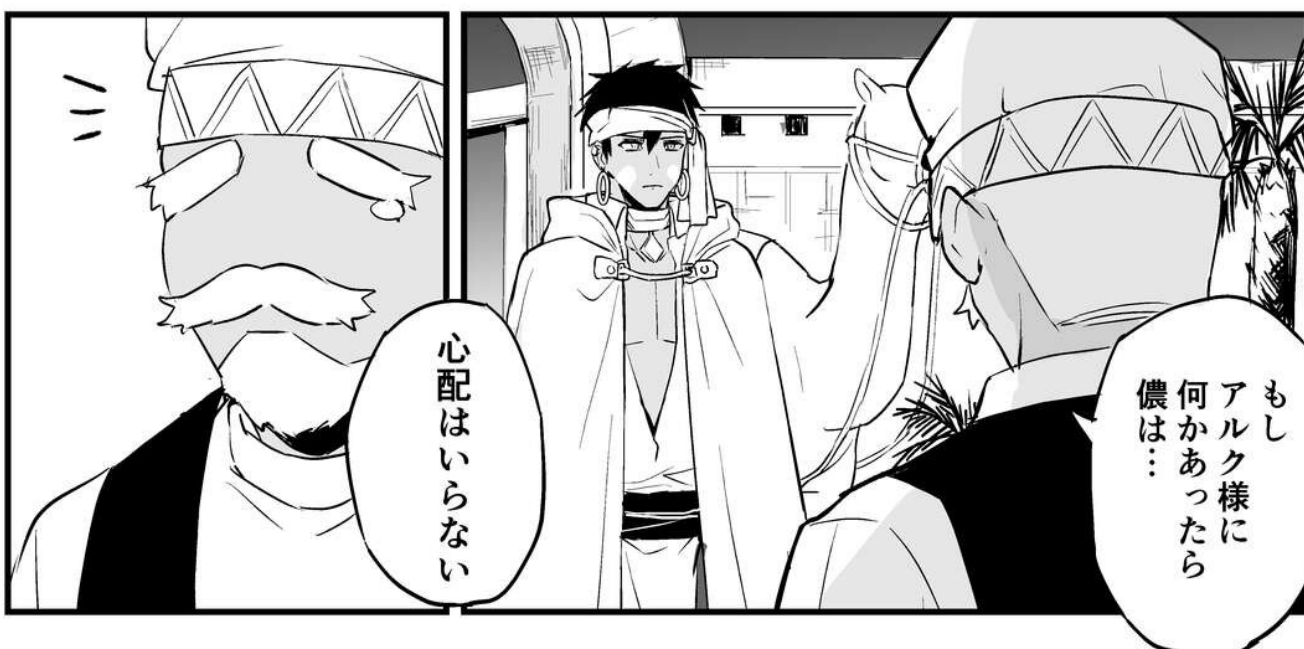
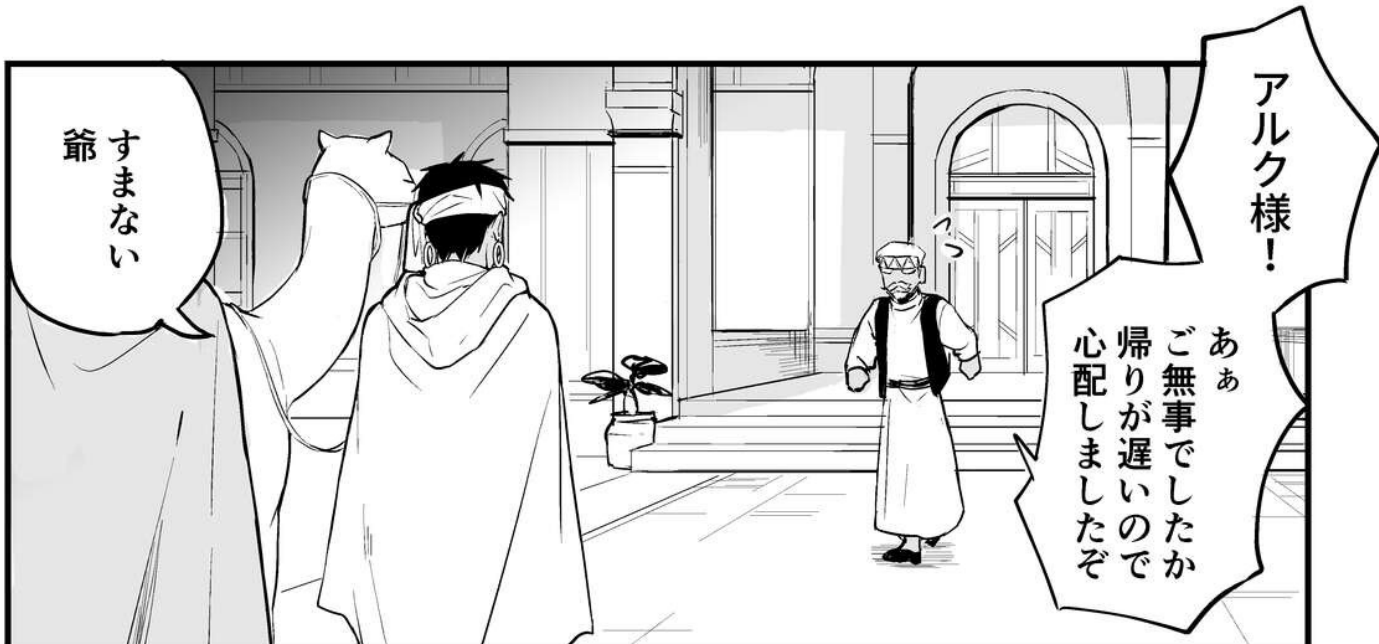
まあ
あくまで噂じゃ

今じゃ
誰の手にも
渡らず
こうして
売れ残っておる

お主にやろう
置物にでも
使ってくれ

売り物じゃ
ないのか







父が築いてきたものを
途絶えさせないため
今が肝心の時なんだ



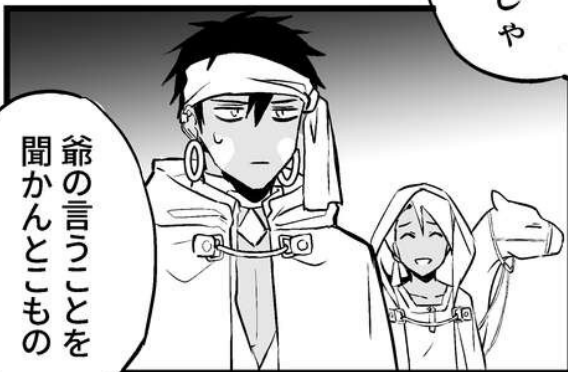
俺なら大丈夫だ

それより
敵国に目を光らせつつ
同盟国への信頼も
欠いてはいけない



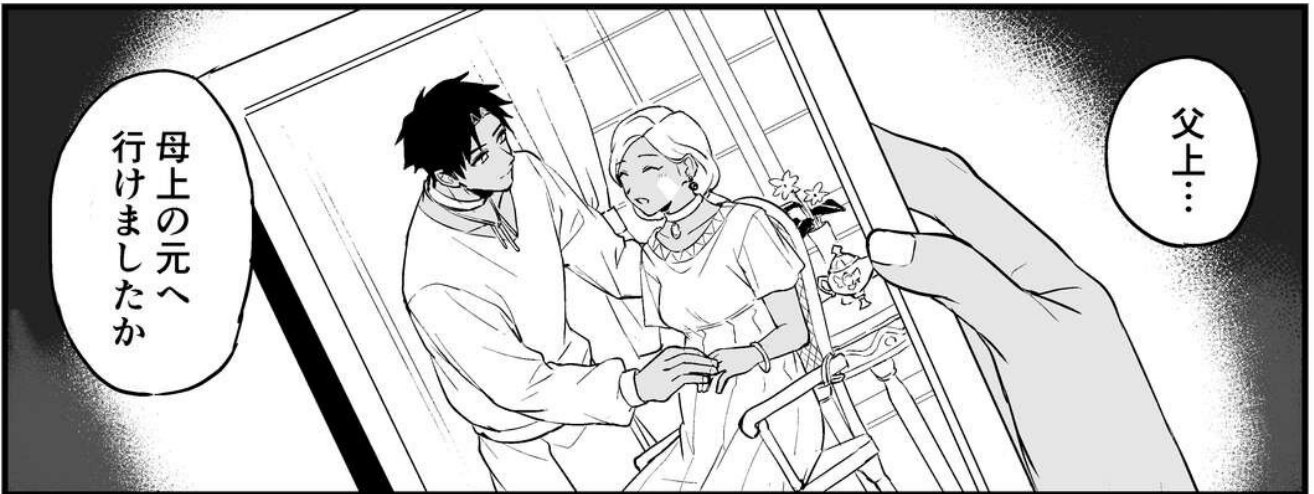
その目…

母君に
そっくりじゃ



爺の言うことを
聞かんとこもの







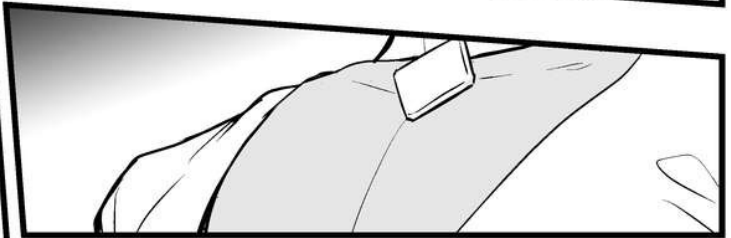
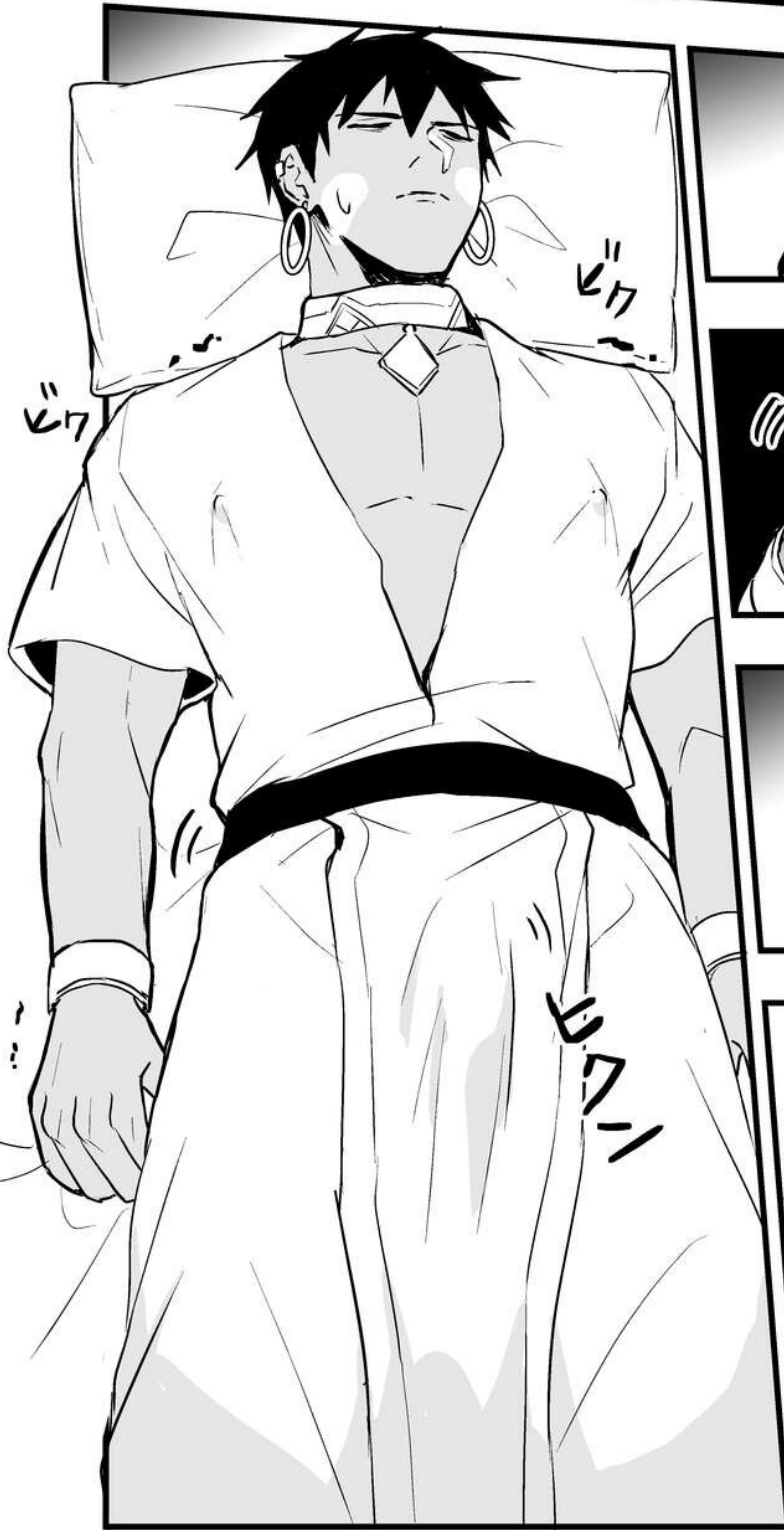
カタ カタ

ジュウウウ

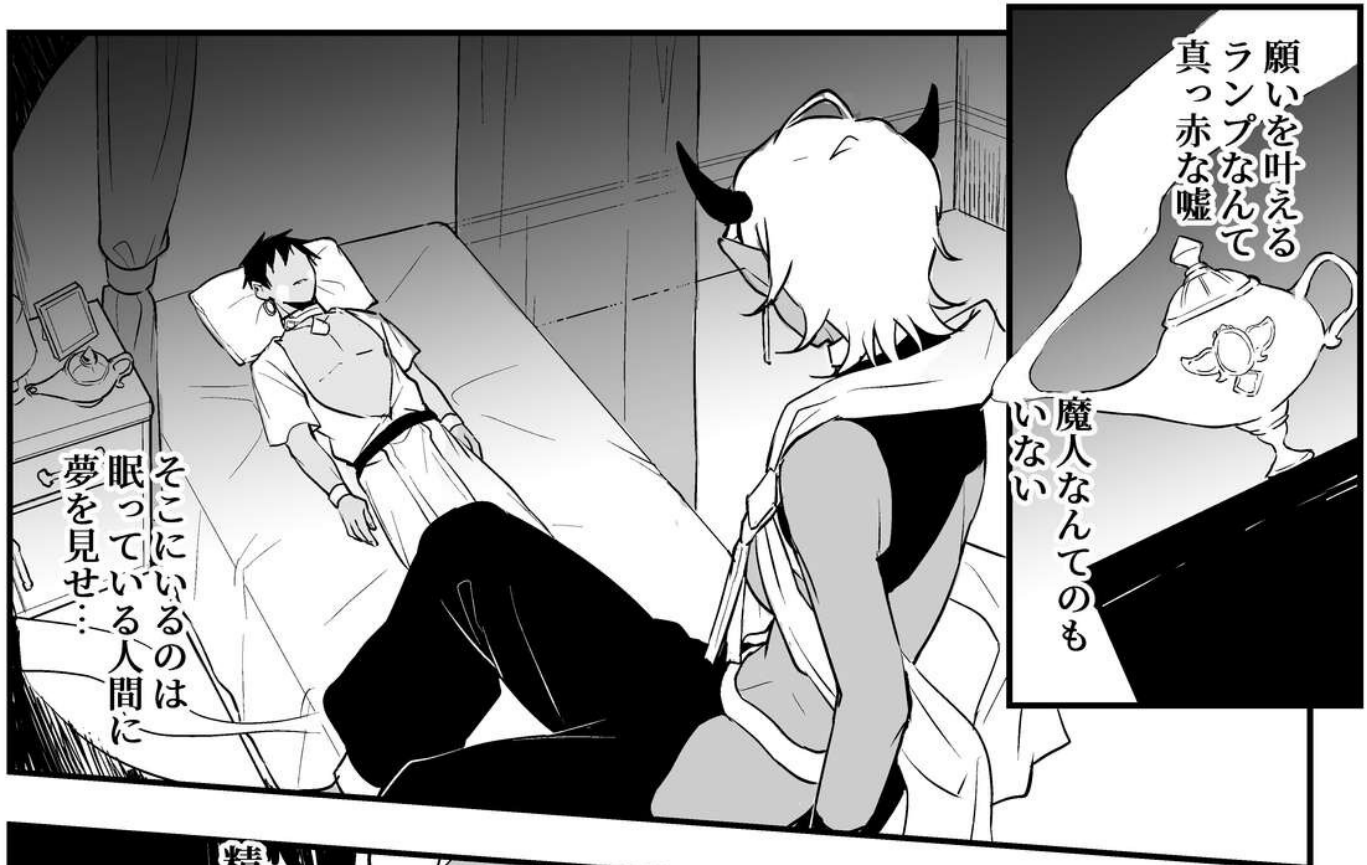
やーっと
眠ったな

さてさて
まずは

腹ごしらえと
いこうか







願いを叶える
ランプなんて
真っ赤な嘘

魔人なんてのも
いない

そこに居るのは
眠っている人間に
夢を見せ…



精気を喰らう悪魔



「願いを叶える
魔法のランプ」に
食いつくような



浅ましくも欲深い
人間の精気が大好物

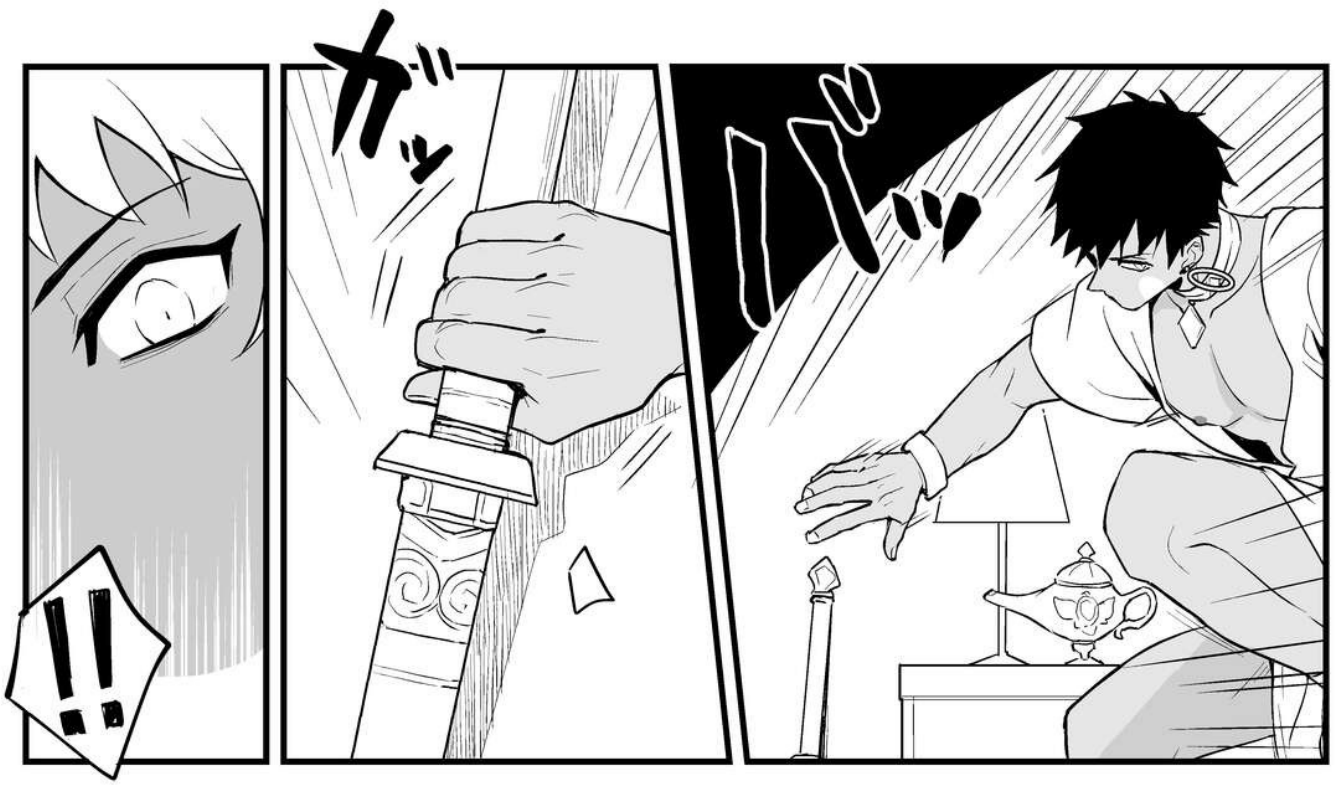


だが
穢れをしない
高貴な人間も
嫌いじゃない



こいつみたい

ハッ
チッ











私は君の母親と
出会った



そうだな
君が生まれる
ずっと前に…



仕方ない
馳走前の
与太話でもするか



姫様!!

姫様ー!



どこに
おられるのです!

全く
また城から
抜け出して



行きましたよ
アルリナ姫

いつも
大変ねえ



大丈夫
すぐ戻る…

あら？



ありがとう！
もうっ
こんなところまで
追いかけてきて



綺麗な
ランプね

ああ
それは



早く
お戻りに
なった方が



話によると
そのランプには
願いを叶えてくれる
魔人が住んでいる
らしいんです

前の持ち主が
行商人から
高値で買い取った
みたいなんですが…

持っている
寝ている間に
何かを
吸い取られている
気がすると言って

気味が悪くなったと
私に押し付けて
きたんです



へえ…

ここに
居たのですか

見つけましたよ
姫様

ビクワッ



さ、帰りますよ

いやーだ!

ズル

駄々を
捏ねないで
ください

ズル







急に体調が悪くなるから
なかなか外に出して
もらえないの

生まれつき
体が弱くて



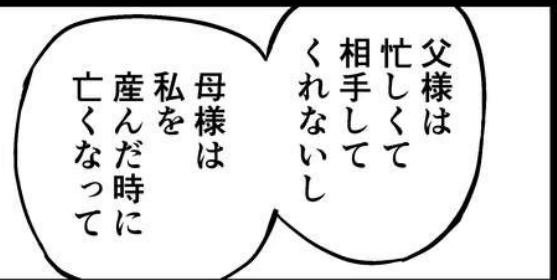
…私

友達がほしい



だから
ずっと一人…

ねえジーナ



父様は
忙しくて
相手して
くれないし

母様は
私を
産んだ時に
亡くなって



…はあ!?

なんで
私がッ!



私と友達になつて

ドキ

ドキ

きゅん



何でも願いを
叶えてくれるんでしょ

うっ…
それは

ねー!!
お願いお願い!

だあー!!
分かった!
分かったから
引っ張るな!

ホント!?



ありがとうございます!



...



ま、い、い、か
この王宮に住む連中から
精気を摂れば
喰い物に困らないし



スダナキー

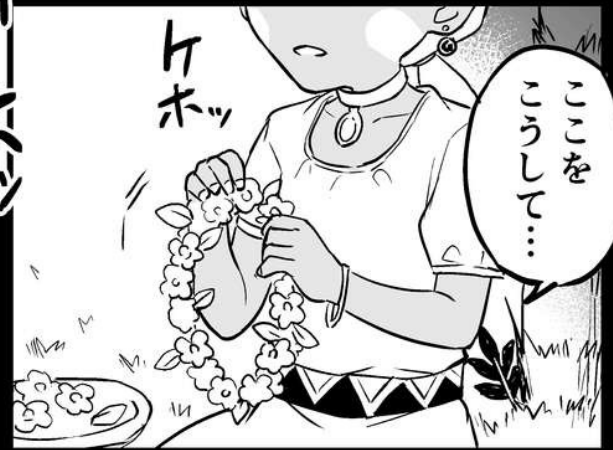


Z Z...



おい
大丈夫か

ヒホッ



ここを
こうして...

ヒホッ

ヒホッ



...



うん

大丈夫
平気だから



おめでとう



ありがとう
ジーナ



あの
おてんば姫が
結婚だなんてね

ふふ
この話よ



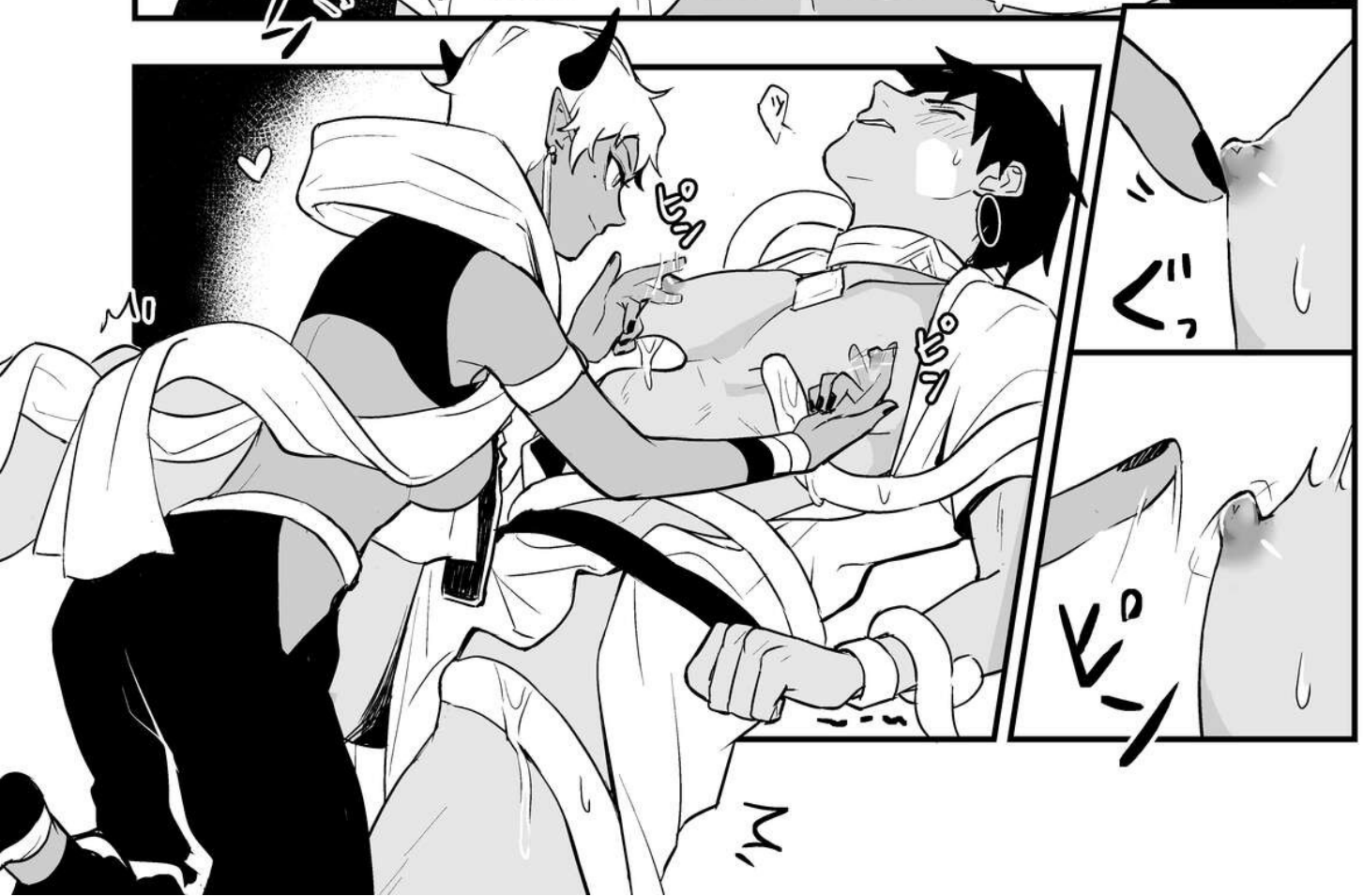
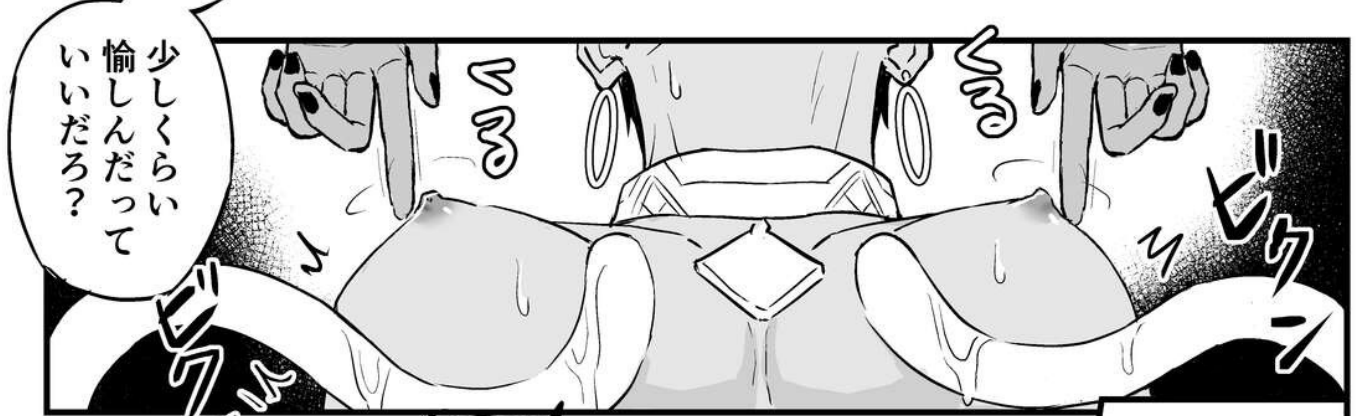


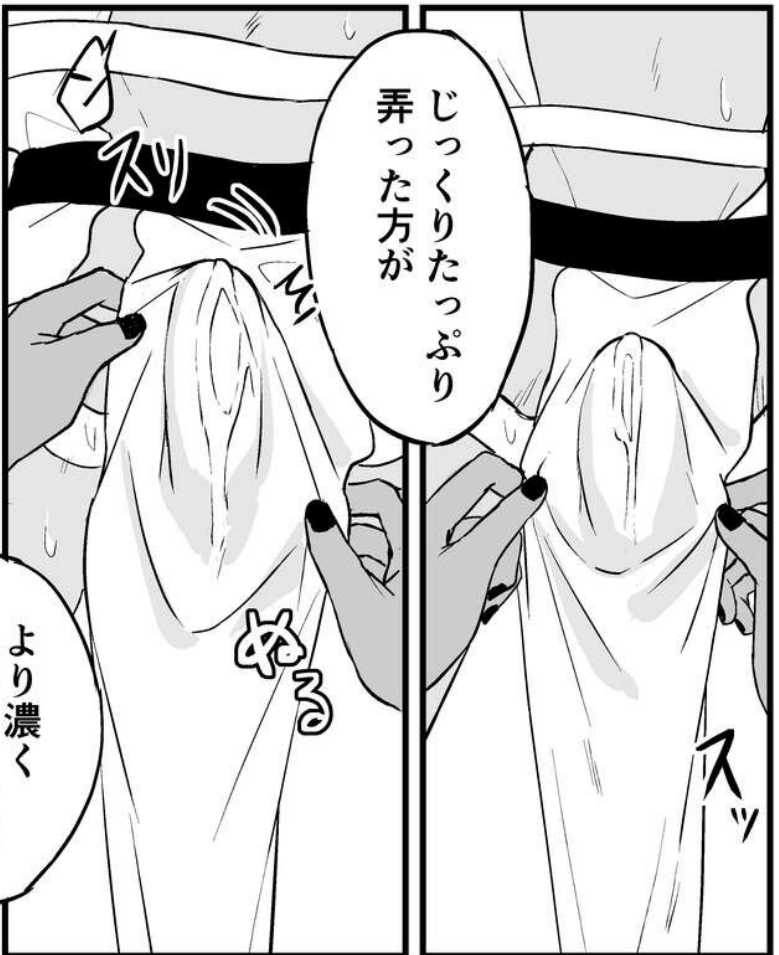




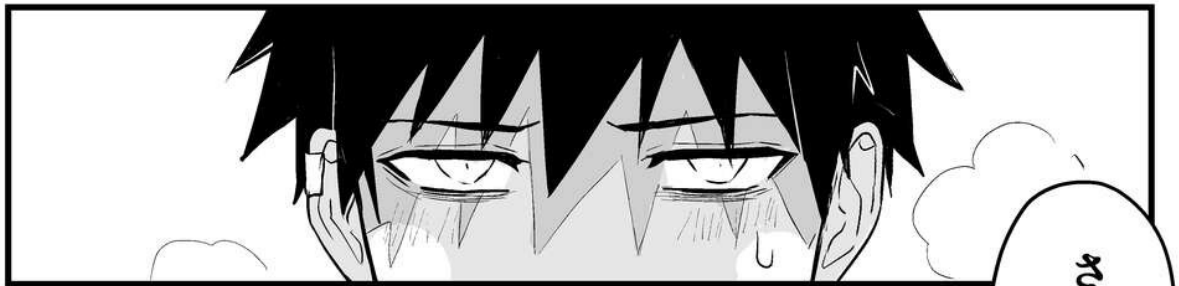


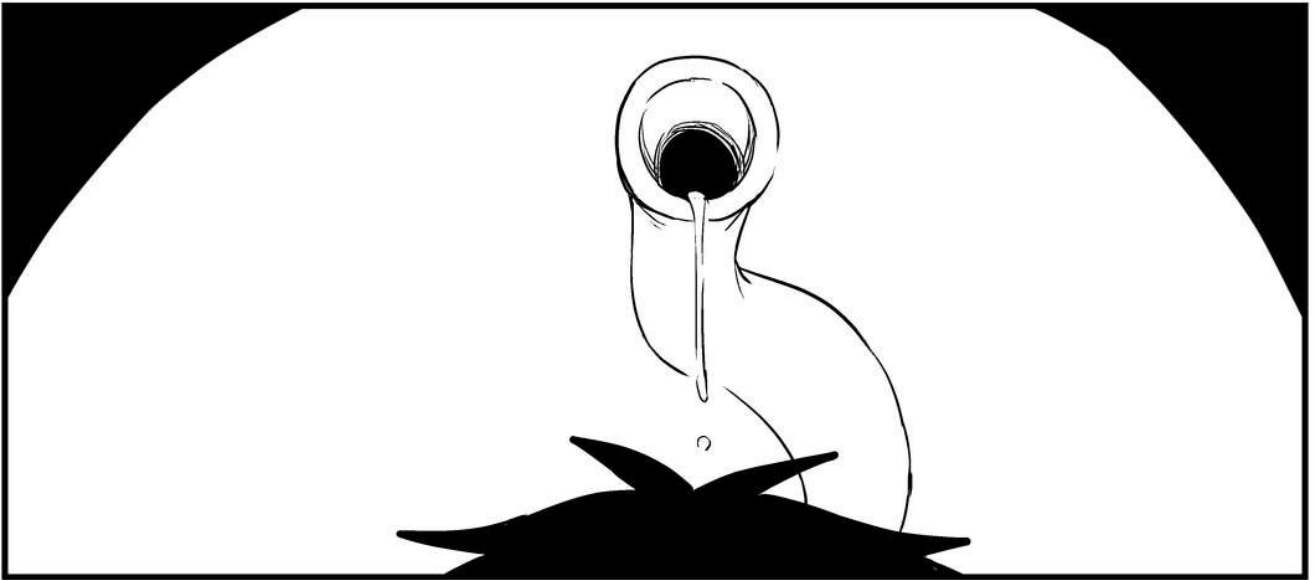


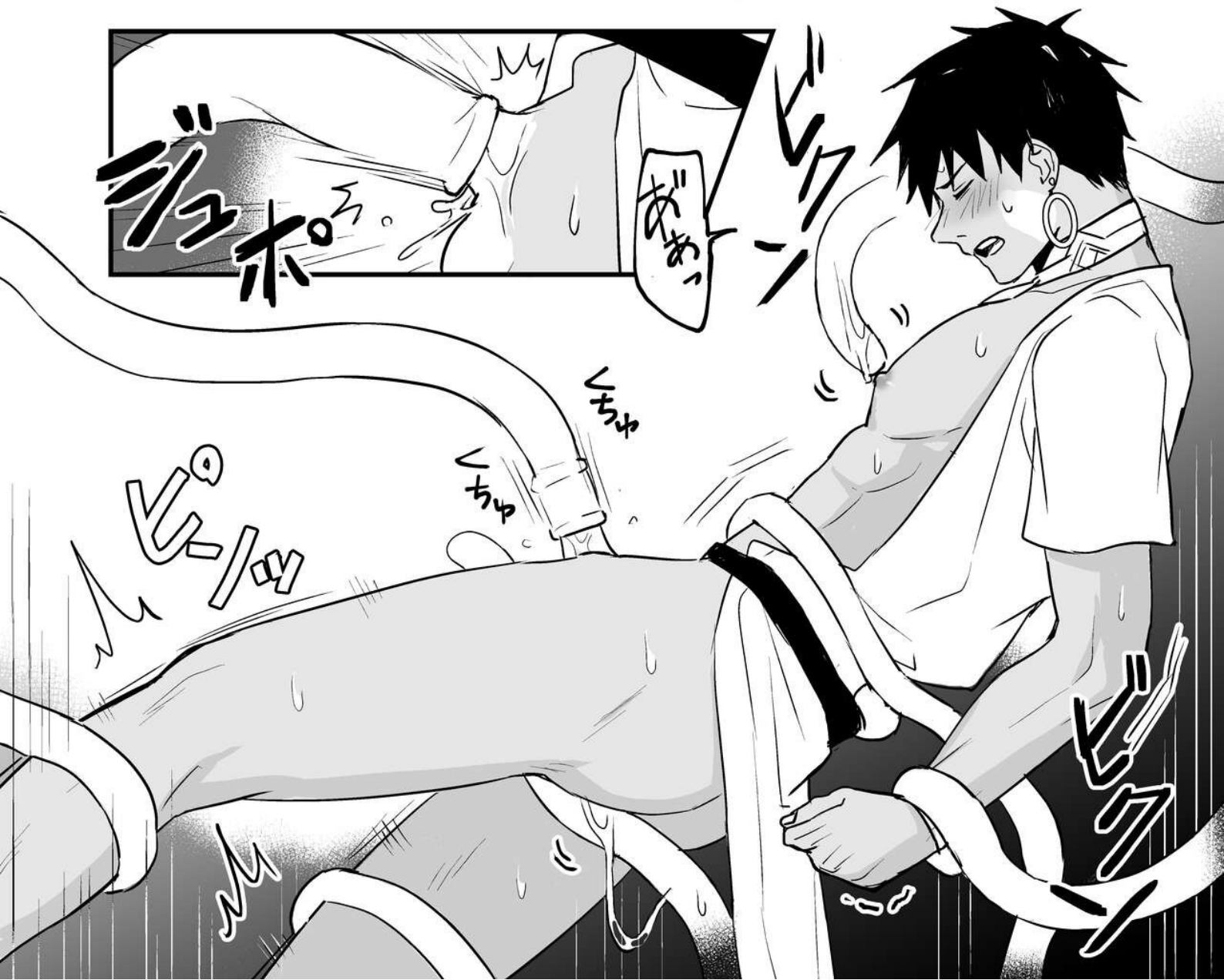














使い魔は所謂私の分身でな



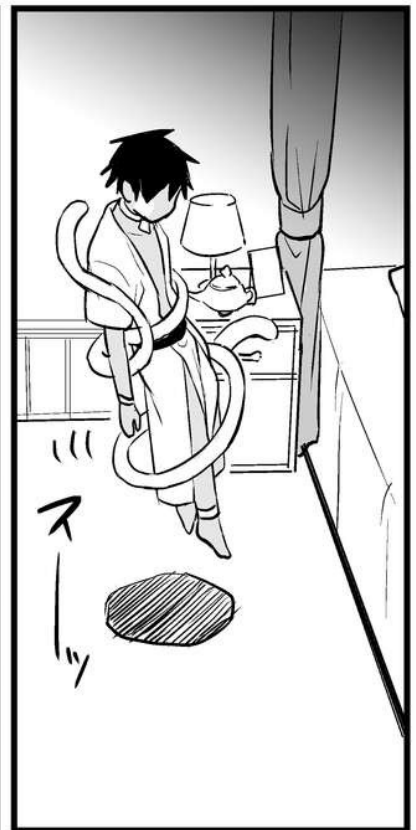
核となるその子は特に私と直結して

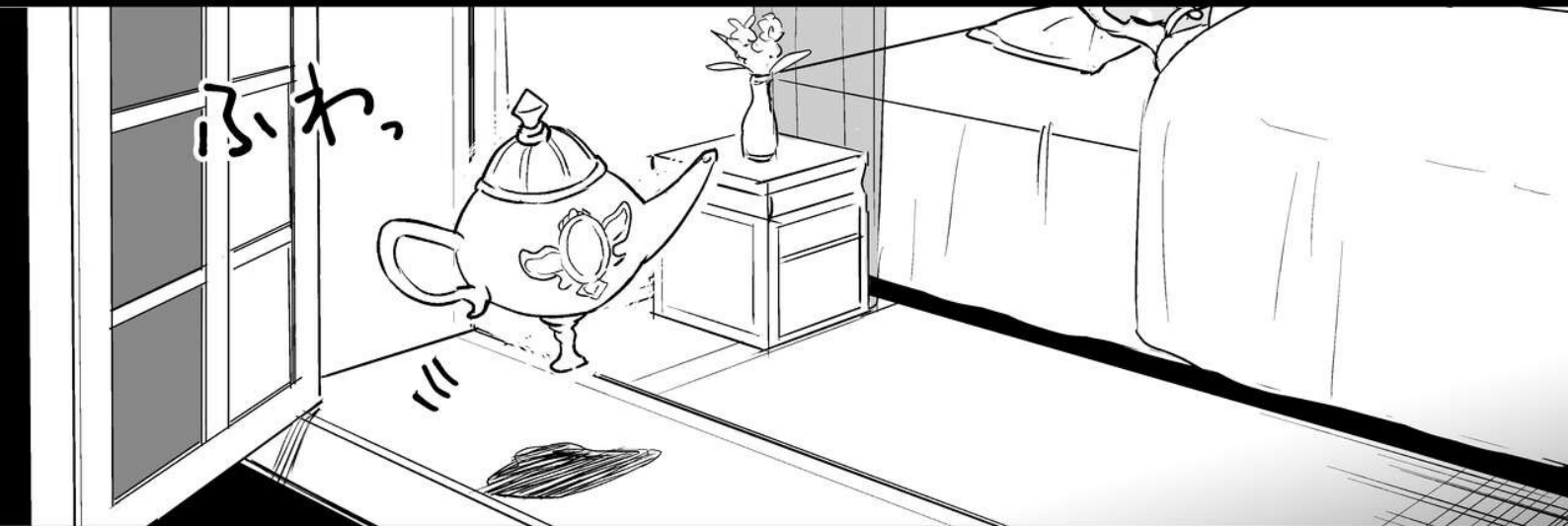


その子が精気を喰えば同時に私も満たされるという...



その子が精気を喰えば同時に私も満たされるという...







アルリナ
しっかりしろ

子供が
生まれたんだぞ



何でも
願いを叶えて
くれるんでしょ

それは…
嘘っぱちだって
気付いてるだろ



ジーナ
この子をお願い

なんで私が
子守をしなきゃ
ならない

君が
傍にいてやれ



あなたに
お願いしたいの

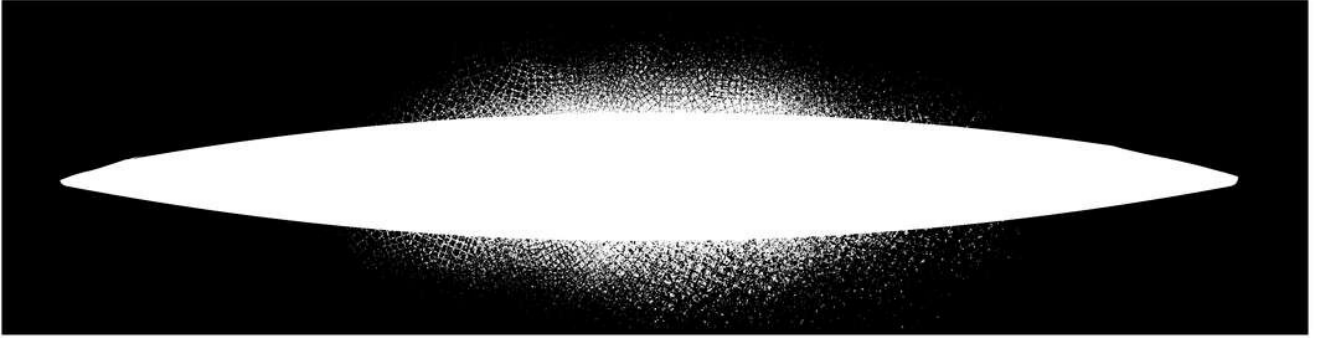


友達だから



ふふっ
冗談







教えてくれ
母はどんな人
だったのか

それが
俺の願いだ

……いいよ
叶えてやる

名はなんだ

ジーナ

俺は

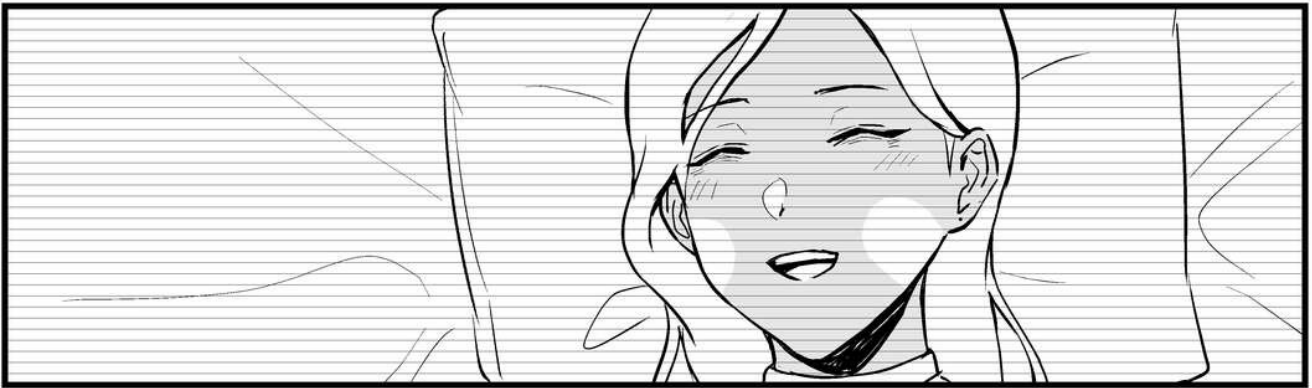
アルクだろ
知ってるよ

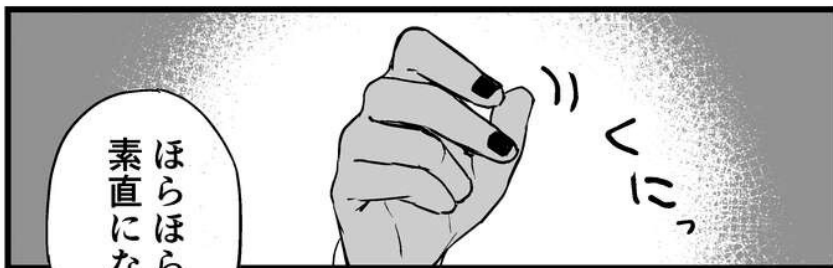
そうか

母は体が弱く
あまり王宮の外へ
出してもらえず
ずっと1人だったと
爺が言っていた

そうだよ
だから
私が遊び相手に
なってやったんだ

ジーナ
母を…







心配するな
アルリナ

お前の子は
立派に育ってるよ

さて朝飯に
するか

はあ!?
まて今からっ

あ♡

いじめがいが
あるくらいにな

Incubus 心配事

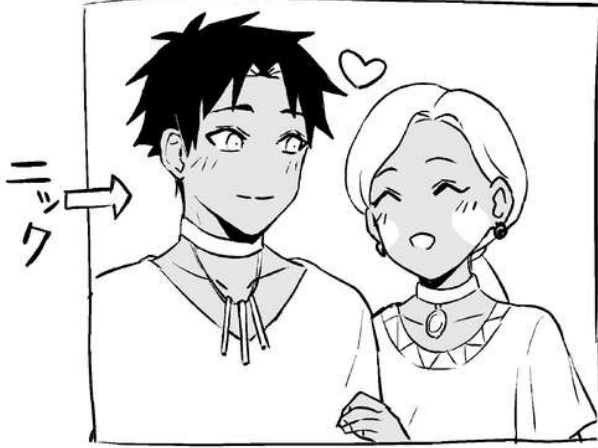
Lamp 灯火

猫巳屋 necomiya

twi ID: @neco3ya_TM

ちょい足し 設定

アルリナとニック(アルクのパパ)は
政略結婚ではなく恋愛結婚です。
ニックがアルリナの国へ訪れた時に
出会いお互い一目惚れ。



アルリナは子供ながらにわがママを
言えない立場だと分かっていました。
おてんばで好き勝手してるように見えますが、
人に甘えるということができない子供でした。

何故命を懸けてまで子供を産もうとしたのか
というとニックの跡継ぎを途絶えさせないためです。
王家の子供なのでそういった風習から抗えません。
唯一わがママを言える存在のジーナ、
そしてニックに子を託したのはアルリナにとって
最大級の甘え。愛情や信頼の現れです。

ジーナは実はもっと早く
アルクの前に現れるつもりでした。
ニックが流行り病で亡くなったのを
きっかけに姿を現すことを決意します。

ジーナは女の姿をした悪魔ですが
男の姿にもなれます、性別はないです。
また、別の生き物に化けることも可能。
怪物に姿を変え国外周辺に現れる盗賊や
敵対する国の者達を怖がらせる遊びにハマる。



サキュバスではなくインキュバスにしたのは
「夢魔」以外にもう一つの意味である
「心配事、心の重荷」を含ませたかったのと
インキュバスの語源である「incubo(のしかかる)」
の方が攻め側に合ってるかなと思ったからです。